

令和二年度 陳情事項及び内容

1 「志高く豊かな心と生き抜く力を育む」の基本目標を達成するための教育環境の整備

- (1) 授業等において、一人ひとりの子ども達に目の届く教職員の配置体制の拡充を希望いたします。併せて、特別支援教育支援員等の支援員の増員をお願いいたします。
- (2) スクールカウンセラーの勤務日数及び勤務時間の増加並びにスクールソーシャルワーカーの増員を希望いたします。

2 学校関連予算の拡充

- (1) 各学校に対する予算配当額の増額を希望いたします。
- (2) コミュニティ・スクールと地域協育ネットとの一体的な推進のため、それぞれの取り組みに活用できるだけ予算確保をお願いいたします。

3 学校施設の整備充実

- (1) やまぐち型地域連携教育の中心的施設であり、災害発生時の避難所並びに避難場所としての学校施設の整備充実をお願いいたします。特にトイレの洋式化では全国の平均値を大きく下回っておりますので、早急な対応をお願いいたします。
- (2) プール未設置校への速やかなプール設置をお願いいたします。
併設型プールでない場合の運用について、近距離であっても移動時間中に安全確保をしにくい、若しくは多くの時間を割いてしまっている現状がございます。プール未設置校にについて、今後の形のご提示をお願いいたします。
- (3) 屋内及び屋外の明確なゾーニングによる学校の安全確保体制整備に向け、ハードウェア面での充実をお願いいたします。防犯カメラ及びセンサーの整備を図っていただき、敷地内に侵入するそのものの行為を抑止するフェンス及び柵での明瞭化並びに再整備をお願いいたします。
- (4) 市内小中学校施設においては、建築後数十年を経過したものが数多くあり、校舎等の老朽化対策が大きな課題となっております。子ども達の安全確保はもちろんのこと、災害発生時には地域の避難所並びに避難場所として期待される公共施設でもあります。地域の防災機能強化の観点からも、早急に学校施設の老朽化対策への計画的な予算確保をお願いいたします。

4 通学路の危険箇所等の把握及び改善

児童生徒の登下校については、岩国市道に限らず各学校指定の通学路を使用しております。

通学路の中には、歩車道の区別もない交通量の激しい道路や、歩道とは名ばかりで非常に狭く尚且つ車道の反対側に逃げ場もない道路など、危険箇所がありながらやむを得ず通学路に指定している箇所もございます。

毎年、岩国市通学路安全推進協議会を開催していただき、各道路管理者から危険箇所の改善状況等について説明をいただいておりますが、各学校との連携を密にしていただき、危険箇所の把握と更なる改善をお願いいたします。

併せて、岩国市道以外の道路についても各道路管理者に対して、児童生徒が安全に通学できるための措置を速やかにとることを要望していただきますようお願いいたします。

5 部活動の改善

現在、市内14校の市立中学校において、在籍している中学校では希望する部活動が存在しないために、充足した中学校生活を送ることができない生徒がいることには胸を痛めております。

近年の少子化は、岩国市においても将来を憂う状況にあり、市内32校の小学校のうち全校児童数が30人に満たない学校が12校もあります。今年度より岩国市内全ての小・中学校で小中一貫教育が始まりましたが、進学先の中学校にある部活動の希望調査などを行うことにより、部員確保の目処をたてるなど、部活動については生徒が安定した活動ができるように配慮をお願いいたします。希望する部活動が在籍校にない場合には、近隣の中学校で希望する部活動に参加できるといった体制づくりのご検討もお願いいたします。

また、教員の働き方改革も叫ばれる中、コミュニティ・スクールの取り組みを行っている岩国市においては、外部指導者制度が導入されましたが、複数人の指導者にご協力いただける学校もあります。ご協力いただける指導員の皆様に対して平等に感謝の気持ちが伝わるよう、指導員の増員をお願いいたします。